



2015.4.5

No. 255

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

出村良平

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 はくろうビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

毎日が投票日

期日前投票・不在者投票について

<期日前投票>

投票日に投票できない有権者が、告示日の翌日から選挙期日の前日までの期間に、選挙人名簿に登録されている市区町村と同じ市区町村において投票することができる制度。

- 投票場所 各市区町村に一箇所以上設けられる「期日前投票所」
- 投票時間 午前8時30分から午後8時まで
- 投票手続 基本的に選挙期日の投票所における投票の手続きと同じです。

<不在者投票>

選挙人名簿登録地以外の選挙管理委員会や不在者投票ができる施設として指定されている病院・老人ホームなどでの不在者投票をすることができる。また選挙期間中に外洋を航行中の船員はファクシミリ装置を用いて不在者投票をすることができる(洋上投票)。

投票用紙は内封筒に入れ、その内封筒を更に外封筒に封入。投票者の自筆による署名を行う必要がある。選挙期日までに20歳になるならば、不在者投票をしようとする日に19歳であっても投票をすることができる。

- (1)名簿登録地以外の市区町村の選挙管理委員会における不在者投票
 - 名簿登録地の市区町村の選挙管理委員会に、直接または郵便等で投票用紙など必要な書類を請求します。この場合、どこで投票したいかを伝えます。
 - 交付された投票用紙などを持参して、投票する市区町村の選挙管理委員会に出向きます。

(2)郵便等による不在者投票

名簿登録地の市区町村の選挙管理委員会に投票用紙など必要書類を請求し、交付された投票用紙に自宅等自分のいる場所において記載し、これを郵便等によって名簿登録地の市区町村選挙管理委員会に送付します。

第18回統一自治体選挙後半戦

選挙名	告示日	投票日
市長・市議会議員選挙 (札幌市を除く13市長、27市議会)	4月19日(日)	4月26日(日)
町村長(36)・町村議会議員(100)選挙	4月21日(火)	4月26日(日)

2015年度高校生平和大使を募集します

高校生平和大使は1998年、インドやパキスタンで相次ぎ核実験を行ったことに危機感を抱いた長崎の市民が実行委員会を組織し、核兵器廃絶を世界に発信するために国連に平和大使として2名の高校生を派遣したことから始まりました。2001年からは、核兵器廃絶高校生一人署名もはじまり、九州を中心に運動が全国に広まりました。2013年には、北海道から初めて高校生平和大使を派遣し、この17年間に128名がピースメッセンジャーとして国連欧州本部で核兵器廃絶を訴えてきました。高校生平和大使は、核兵器廃絶や平和に対する意識を高めるとともに、かけがえのない貴重な経験をしています。

連合北海道加盟の組合員及びその知友人のお子さんに、高校生平和大使の活動や募集していることを是非知らせて下さるよう、お願いします。

核兵器廃絶と世界平和の実現をめざして
ナガサキ・ヒロシマの声を世界へ

2015年度 第18代 国連高校生平和大使
Peace Messengers

応募してみませんか?

第17代高校生平和大使 国連訪問

高校生平和大使は、全国各地域で集めた核兵器廃絶の署名をスイスのジュネーブにある国連本部に届けるとともに、日本からの平和のメッセージをスピーチします。6月の高校生平和大使の結団式から1年間を任期として、北海道内外の平和活動に積極的に参加します。2015年のジュネーブ派遣は、8月18日から8月21日までの予定。国連訪問後、日本大使館訪問、自国への署名活動などを予定しています。

募集要項

- 応募資格 2015年8月時点で北海道に在住の高校生であること(学校・学年・性別・学力は問いません)
- 応募先 氏名・学校名・学年・住所・電話番号(FAX番号)を明記の上郵送・FAX・メールで「北海道高校生平和大使事務局」まで応募
- 応募締切 2015年4月30日(木)
- 受付日時 2015年3月24日(日) 13:00~
- 郵送先 ホテルポールスター札幌2F「セレナード」(札幌市中央区北4条西6丁目) TEL011-241-9111

北海道高校生平和大使派遣実行委員会 後援：札幌市・札幌市教育委員会・北海道私立中等高等学校協会
〒060-9616 札幌市中央区北4条西12丁目ほくろウビル6F 連合北海道民運動局気付
TEL 011(2) 010050 FAX 011(2) 2722255 E-mail info@hokkaido-heiwataishi.jp
http://www.hokkaido-heiwataishi.jp

応募要項

- 国内での活動 6月13~14日 広島での高校生平和大使の結団式
8月7~9日 2015長崎集会・研修
- 国連訪問 8月16~21日 YWCA、国連欧州本部、ベルンでの署名活動など
22日 記者会見
- 応募資格 ・2015年時点で北海道に在住の高校生であること
・国内外の主な活動に参加できること
・応募には保護者の承諾が必要
- 任期 2015年6月13日広島での結団式から1年間
- 募集期間 2015年4月1日(水)~4月30日(木)
- 選考 応募者の中から選考会を経て決定
結果については直接本人に通知
- 選考内容 ①作文~題目は当日提示(30分間、原稿用紙2枚程度)
②全体での自己アピール(2分程度)
③面接(個人面接もしくは集団面接)選考内容
- 選考日時 2015年5月24日(日)13:00~
- 選考会場 ホテルポールスター札幌2Fセレナード
札幌市中央区北4条西6丁目 TEL011-241-9111
- 応募方法 郵送、ファックス、メールのいずれかの方法で応募
北海道高校生平和大使派遣実行委員会のホームページを開いて、応募用紙をダウンロードして、郵送、あるいはファックスで送付するか、直接メールの応募フォームで応募するか、いずれかの方法で応募して下さい。
- 宛先 【郵送の場合】〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目ほくろウビル6F
連合北海道民運動局気付
【FAXの場合】011-272-2255
【応募フォーム】パソコンから直接

※詳細については、北海道高校生平和大使派遣実行委員会ホームページをご覧ください。

<http://www.hokkaido-heiwataishi.jp/>

「古賀会長とニューリーダーとの直接対話 (KNT47) in 北海道」を開催

連合北海道青年委員会は、3月7日15時から「古賀会長とニューリーダーとの直接対話 (KNT47) in 北海道」を開催し、11産別29名（うち女性5名）が参加した。

連合北海道工藤会長の開会あいさつ後、連合本部・古賀会長から「連合の活動方針策定に、いろいろな声を吸い上げていく必要があり、対話活動に力を入れ、①構成産別との対話、②非正規労働者との対話、③青年労働者との対話の3つを柱として取り組み、その一環としてKNT47を立ち上げ、全国を巡回している」との説明があった。

その後、3つのテーマに沿って、参加者から率直な意見を伝えた。

1つ目の「若年層の活動の活性化について」では、「若年層の組合員は組合へのありがたみが薄く、組合活動に消極的」「職場などの悩みや不安を出し合い共有することが組合活動の原点だと思うが、業務が忙しく余裕もなく、そこが出来ていない」などの声が上がった。古賀会長からは「まず青年は主体性を持ち、『自分達の問題は自分達で解決する』という強い気持ちで仲間と討論することが必要。組合運動の原点である世話役活動にもっと重点をおき、組合員に近づく姿勢が必要」などのアドバイスがあった。

2つ目の「連合に期待すること、連合ブランドをいかに確立するか？」のテーマには「連合が労働組合の連合体であるという理解がされていない。多くの組織が集まっている優位性を生かした活動が必要」「連合のイメージはレクを中心とした交流活動。もっと職場での悩みなどを共有できる場にすべき」との意見が出され、古賀会長からは「全ての組合員が連合を意識することが重要なのではなく、それぞれの位置で労働組合の必要性を感じる事が大事である。仲間の声に依拠した活動



が必要であり、悩みを共有できる場などコミュニティを作っていくことも重要」と助言を受けた。

最後に北海道の独自テーマの「若年層の政治意識の高揚にむけて」について、「北海道では青年層の政治への関心を高めるため、青年選対を立ち上げ活動を行っている」「今の政治は若者向けの政策が少なく、自分達に関係あると思えず、興味を持ってない仲間が多い」などの意見が出た。

古賀会長からは「日本人は他人任せの気質があり、これを変えていかなければならないが、そもそも、政治家は国民の声を基に政策を考えなければいけないし、国民も政治に参画することは権利かつ義務という意識を持って政治に関わっていかなくてはならない。青年から政治に関心を持つための取り組みとして、青年選対の活動は全国にも広げていきたい」などの返答を受けた。

〈この記事のアドレス〉<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=1365>



「2015春季生活闘争・第18回統一自治体選挙闘争勝利!! 3.9全道総決起集会」に1,400人が結集

連合北海道は3月9日、札幌市民ホールにて「2015春季生活闘争・第18回統一自治体選挙闘争勝利!! 3.9全道総決起集会」を開催し、1,400人超の組合員と60名を超える各級議員候補予定者が参加した。

主催者の連合北海道工藤会長から「本日の集会は2015春季生活闘争と知事・札幌市長選を頂点とする統一自治体選挙闘争勝利に向けての意思統一の場である。2015春季生活闘争は、組織労働者の賃上げの成果を、すべての働く者に波及させ、社会全体の底上げ・底支えを実現する闘いである。掲げた要求に確信を持って、労働組合が社会から与えられた使命を自覚し、粘り強い交渉を展開することを、この場で誓い合おう。統一自治体選挙闘争は極めて短い期間の戦いだ、『佐藤のりゆき』知事候補予定者、『秋元克広』札幌市長候補予定者、さらに連合推薦の各級議員全員の完勝に向けて、一丸となって、組織の総力を挙げ取り組む」との挨拶があった。

続いて出村事務局長より「われわれは月例賃金の引き上げにこだわる闘争方針を確立してきた。第1のヤマ場16日から20日、第2のヤマ場23日から31日を配置して交渉を展開し、地場中小への相場形成に向けて取り

組もう」と方針が提起された。続いて、産別を代表し、UAゼンセン：コープさっぽろ労働組合・飯田はるみさんと、JAM北海道：オーエスマシナリー労働組合・渋谷亨さんのお二人から今春闘に臨む力強い決意表明があった。

この後、北海道知事候補予定者・佐藤のりゆき氏、札幌市長候補予定者・秋元克広氏をはじめ、道議・市議候補予定者を紹介した。佐藤氏からは「若者が北海道から離れずに、夢をもって暮らせる北海道を作りたい。その実現に向けて、北海道の皆さんと心をつなげて一緒にスクラムを組み、私の考えるプランを推し進めましょう!」と熱い決意表明があった。

また、秋元氏からは「35年間札幌市政に携わり、札幌に住んできた自分だからこそ、伝えられる札幌の魅力がある。市民自治、人にやさしい街、経済の活性化を柱に、若い人が希望を持てる札幌の街作りを、皆さんとぜひ一緒に進めさせて下さい!」と力強い決意表明がなされた。

連合北海道青年員会の齊藤委員長が集会決議を読み上げた後、必勝を願って参加者全員で団結ガンパローを三唱し閉会した。



4月の主な動き

イベントカレンダー

■道議会議員・札幌市議会議員選挙告示
3日(金)

■知事・道議・札幌市長・札幌市議選投票
12日(日)

■第2回メーデー実行委員会
14日(火) 13:30/自治労会館

■第4回男女平等参画推進会議
14日(火) 15:00/自治労会館

■食・みどり・水を守る道民会議第1回幹事会
16日(木) 15:00/連合北海道会議室

■第19回中央執行委員会
16日(木) 13:30/連合会館

■第3回判例研究会
16日(木) 18:30/かてる2・7

■第2回教育を考える対策委員会
20日(月) 13:30/連合北海道会議室

■第7回執行委員会
22日(水) 10:00/連合北海道会議室

■第2回憲法と平和学習会
23日(木) 18:00/ポールスター札幌

■第18回統一自治体選挙後半戦投票日
26日(木)

■石狩地協中小組合春闘解決促進集会
27日(月) 18:30/エルプラザ

第86回全道メーデー

日時 2015年5月1日(金)
9:30 オープニング

場所 札幌大通公園8丁目広場